



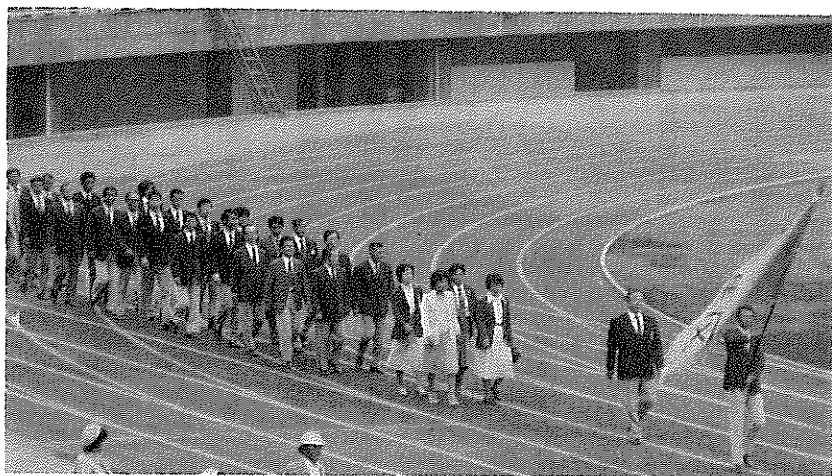
# 練馬区体育協会ニュース

加盟 (財) 東京都体育協会

第1号

創立 昭和24年10月(1949)

発行 昭和52年7月20日



入場する練馬区代表選手団

区都市別順位得点表	
男子1	世田谷区 八八・五
2	台東区 八七・五
3	大田区 八〇・五
4	渋谷区 七七・五
5	千代田区 七六・〇
6	新宿区 七一・五
女子1	練馬区 四三・〇
22	千代田区 五五・五
参考	昭和五〇年
男子総合十位	練馬区 十二・〇

第三十回都民大会は、五月二十九日、駒沢陸上競技場での総合開会式によってその幕は切っておとされた。午前九時、参加五十二区都市の代表選手団による力強い入場行進、練馬区代表選手団は、真鍋旗手、奥田団長以下五十名の代表が参加、堂々の行進を展開した。

恒例の表彰に於ては、当区より優良団体として「銃剣道連盟」個人功勞者として、前田鐵男副会長が表彰された。

競技は、開会式終了後直ちに各会場にて、十四日間わたる大熱戦が開始された。練馬区は、男子の部二十五競技、女子の部五競技に参加、善戦健闘したものの、各競技とも中盤戦で強豪とぶつかる不運となり、その総合成績は、例年に比べ得点は大巾に減少、男子二十二位、女子二十六位の考しくない成績に終わった。

六月十二日(日)、全競技が終了、午後三時より駒沢体育館に於て閉会式が開催され、高松宮杯(男子)が世田谷区に、高松宮妃杯(女子)が千代田区に授与され、大会は幕を閉じた。

第三十回 東京都民体育大会

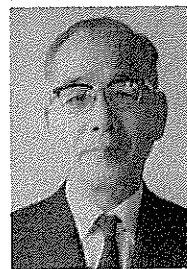
男子総合第二十二位・女子総合第二十六位

男子三十一競技・女子総合十二競技

参加五十二区・郡・市・一三〇〇〇人

女子総合十六位  
昭和五年

男子総合十七位  
女子総合 十位



「発刊のことば」

練馬区体育協会  
会長 小口政雄

本協会は、昭和二十四年創立、実に二十八年の永い歴史と実績をもちつておられます。

私達は、区民の方々の、スポーツの先達として努力して参りました。この事業は、各競技団体とスポーツを愛好する多くの指導者の協力と専任によって継続して来たものです。

今回、本協会執行部は、この実績の積み重ねをならぬかの形で広く区民の皆様を知っていただくと共に、より多くの方々に、我々の事業に参加するチャンスを持ってもらうため、広報活動の一環として「練馬区体育ニュース」を発刊することになりました。

小さな仕事ですが、この積み重ねが、やがては大きなものとなることを望みます。

各競技団体の皆さん、スポーツを愛好する皆さん、当体育協会の発展のためにご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。

競技種目別成績表

スキー

三月五日、六日

福島県またちおスキー場

参加点のみ

陸上

五月二十九日 駒沢グラウンド

総合五位。教員一〇〇M 三位

一一秒六原間裕。一般走高跳

二位。一M九一(大会新)番匠

清。一般スエーデンリレー一位

五分二秒(大会新)内田、木村

種下、篠原。

駅伝

バレーボール

五月二十九日 駒沢バレーボール

場 男子総合五位

男子一回戦、練馬二〇葛籠

二回戦、練馬二〇園分寺

三回戦、練馬二〇秋川

準々決勝〇一で負ける。

女子一回戦、練馬二〇東村山

三回戦、練馬一〇二黒

軟式野球

五月二十九日 世田谷総合グラ

男子一回戦、練馬一〇四港

女子一回戦、練馬三〇葛籠

二回戦、練馬三〇青梅

三回戦、練馬一〇二渋谷

バドミントン

六月五日 駒沢体育館

男子総合五位

一回戦、練馬二〇小金井

二回戦、練馬二〇江東

三回戦、練馬二〇二江東

四回戦、練馬〇一〇二中野

女子一回戦 シード

二回戦 練馬〇一〇三限田

弓道

五月二十九日 駒沢弓道場

第二六位(四三チーム出場)

柔道

五月二十九日 講道館

一回戦 練馬三〇〇小金井

二回戦 練馬二〇〇千代田

三回戦 練馬〇一〇二江東に敗退

剣道

五月二十九日 品川区立体育館

一回戦 練馬五〇〇東大和

二回戦 練馬二〇〇千代田

三回戦 練馬一〇三武蔵野

卓球

五月二十九日 東京体育館

男子一回戦 練馬三〇〇西多摩

二回戦 練馬三〇〇国立

三回戦 練馬〇一〇三杉並

女子一回戦 練馬三〇二港

三回戦 練馬三〇二板橋

四回戦 練馬三〇二中野

準決勝 練馬〇一〇三台東

三位決定練馬〇一〇三黒

第四位

軟式野球

五月二十九日、六月一日

上井草野球場

一回戦 練馬七〇〇東久留米

二回戦 練馬三〇八中央

クレイ射撃

六月五日 成田射撃場

総合第四位

トラップ 一位

スキー 六位

ライフル

六月五日 朝霞射撃場

団体総合第七位 二二七七八点

個人

SBP六〇 五六四点 十六位

ARS四〇 三六六 七位

ARP六〇 五六二点 一位

アーチェリー

六月五日 駒沢第一球技場

第三位 一五九三三

五月二十九日 駒沢体育館

二回戦 練馬二〇二世田谷

同点の結果、内容負け。

銃剣道

六月一日 忍ヶ岡中学校

団体優勝

一回戦 練馬二〇〇台東

二回戦 練馬三〇〇文京

三回戦 練馬三〇〇杉並

四回戦 練馬三〇〇葛籠

準々決勝 練馬二〇一〇大田

準決勝 練馬二〇一〇中央

決勝 練馬二〇一〇板橋

ローラースケート

六月一日、六日。後楽園リンク

総合第五位

ホッケー

一回戦 文京五〇一練馬

スピード

三〇〇〇米 第四位藤本厚司

リレー 第三位

フライング

第四位 下村正志

相撲

五月二十九日 靖国神社

総合第五位

一回戦 練馬三〇一〇墨田

二回戦 練馬五〇〇大田

三回戦 練馬三〇二台東

決勝トーナメント進出

第一戦 練馬二〇三〇千代田

千代田が優勝

加算外種目

自転車 総合第二位

レスリング 総合第八位



### 「発行によせる」

練馬区教育委員会  
教育長 岩波 三郎

先般、秩父で行なわれました区体育協会の幹部研修会では、貴重など意見を拝聴し、また真剣な討議や和やかな歓談に加わらせていただき誠に有意義な一日を過ごすことができましたことを、この紙上をかりして改めて会長をはじめ各位に心から感謝を申しあげます。さて、区民一人一人の健康づくり、家庭の和、地域の和を自途として進めてまいりました社会体育行政も、きびしい諸条件のもとで著実にその成果をあげています。このことは、結成以来二十八年の間、常に市民スポーツのリーダーとして努力を重ねられた区体育協会の支があったからこそと、私は理解をいたしています。今後とも一層のご協力をお願いします。体育協会ニュースの発行にあたり、これからも機会をおたえいたなければ、皆様方と意見の交換やそのほか種々の事柄について、紙上での対話を続けてまいりたいと希望いたしております。

### 「中央大学・グラウンド跡地の利用」

この度、区内練馬二丁目にある中央大学グラウンドが、東京都より、しばらくの間（数年間）練馬区に移管され、漸定使用出来ることになりました。これは、陸上公認トラック（一周四〇〇米）、サッカー場、ラグビー場を主体とする屋外競技グラウンドで、総面積五八、〇〇〇平方メートルの広いものです。全てがそのまま体育施設として使用出来る関係から、この管理については、教育委員会にまかされることになりました。

### 「第二回幹部研修会 成功裡に終了」

当体育協会を構成する二十の加盟競技団体間の交流を図ると共に、本協会の運営並に各団体との連絡を密にするため企画された幹部研修会は、六月十八日、十九日、埼玉県秩父市山形旅館に於て岩波教育長、前田、奥田両副会長以下四十二名が参加して開催された。四分科会での討議、懇談会、全体会議三日間、有効に使用され、大きな成果をあげて終了した。研修会の内容

- 一、共催事業の実施と体協の受持を分野。加盟団体事業に対し、従来ほとんどかわりあいをもたなかった本体協が、積極的な姿勢を示すことに対し、各団体より、一応賛意が発表された。その一案として、体協より表彰、賞典の協力が要望として出され、まずこの分野から手がけることが確認された。
- 二、基本的な年間、各団体より一事業
- 三、方法は、体協側は所定の用紙（申請、報告）を作製準備する。共催事業の表彰面に体協幹部が参加、之を実施する。
- 四、体協財源の確保と推進
- 五、賛助会員の加入願いを作製し、各団体に配布し、賛助会費の増収を計り、助成費とする。
- 六、競技、講習会の会場確保につ

### 「区体協 賛助会員」

小・中学校体育館開放の推進と中大グラウンド跡地の開放等により、会場確保のため努力をすすめる。四、体協活動のPRについて 体協ニュースの年間継続発行を考へ、まず第一号を七月中に発行し、体協の広報活動とする。五、地区体育会推進について 教育長より、学校体育館開放の推進と同時に地域指導者を中心とした地区体育会への発展が望ましい旨、発表された。この組織づくりは、体協自体の願望でもあり、これを機会に、教育委員会と協力して、モデル体育会の発足をすすめ、地区体育会の育成に取り組み姿勢を申し合わせた。

「練馬体協マークの制定」 一昨年、当体協が、文部大臣表彰を受賞した際、之を記念に、タイタックの製作配布を実施した。この時、使用された図案が、予想以上の好評を得たので、常任理事会は、理事會に附議、之を本協会の正式記章マークと制定することを決定した。マークの説明 (デザイン) 考案 野口嘉郎 中央に大きく飛躍する抽象的な人形像を描き、之に練馬区体育協会の英文(第一面上段マーク参照)の頭文字A、A、A、Nを配置、外側に栄光のシンボルである月桂樹の葉を入れたものである。

- ◎大和地所株式会社 石神井町二ノ四ノ二六 中井川 二郎
- ◎真栄整骨院 旭町三ノ三ノ十九 奥田 真輔
- ◎東亜化学株式会社 貫井一ノ二九 倉橋 定次郎
- ◎五十嵐機械彫刻所 石神井町八ノ二〇ノ六 五十嵐 民男
- ◎東京工業堂(世田ヶ谷区) 中町二ノ六ノ二九 皆川 源三郎
- ◎カトオ・スポーツ 平和台四ノ七ノ二二 加藤真三夫
- ◎ひのきやスポーツ店 桜台・関三中前バス停 栄 寿司
- ◎豊玉北・練馬警察前 藤井 優
- ◎藤井 優 谷原五ノ二〇ノ六
- ◎小沢推業 高松三ノ八ノ二
- ◎江口義之 南大泉町五八四
- ◎小口政雄 中村北二ノ二

練馬区体育協会・役員名簿

- 会長 小口政雄  
 副会長 前田鉄男・奥田真輔  
 理事 奥山則男  
 理事長 野口嘉郎  
 副理事長 山下誠・寺崎誠  
 常任理事 長谷川義夫(会計)  
 台田友夫(記録)  
 尾形肇吉(〃)  
 徳山靖(〃)  
 滝沢栄吉(企画)  
 本間弘一(〃)  
 落合忠夫(〃)  
 松井昭武(財務)  
 吉田邦治(〃)  
 中沢明(〃)  
 成田収司(体育課)  
 前田忠(〃)  
 五十嵐民男(剣道)  
 横山鉄治(空手)  
 監事 〃  
 理事 〃  
 (庭救) 浜田俊介 舟崎和誠  
 (野球) 高田光行 島村友吉  
 (バスケット) 安藤幹男 大沢幸一  
 (弓道) 山本留春 播磨芝瀧  
 (卓球) 吉浦邦良 小沢偉雄  
 (剣道) 松村幸男  
 (柔道) 市毛富士穂 佐久間和男  
 (サッカー) 佐々木光雄 滝沢一夫  
 (スキー) 菅谷 忠 杉崎寿三男  
 (陸上) 中島三三夫 篠原庸雄

- TEL 九九〇〇四五七  
 会長 吉田公一  
 五、剣道連盟 (昭二六)  
 石神井町八一〇一六  
 TEL 九九七二二五八  
 会長 紙田吉太郎  
 六、柔道会 (昭二六)  
 桜台一四四 吉田方  
 TEL 九九一五七八八  
 会長 小口政雄  
 七、サッカー協会 (昭二八)  
 〇、貫井三十七一十二佐々木方  
 TEL 九九九三三四七  
 会長 佐々木光雄  
 八、スキー会 (昭三〇)  
 〇、練馬一四〇一十三 寺崎方  
 TEL 九九二二二八一  
 会長 飯地勉彦  
 九、クレー射撃協会 (昭三三)  
 〇、春日町三十四一十九  
 長谷川方  
 TEL 九九〇二〇六五  
 会長 鶴岡正雄  
 七、障上競技協会 (昭三四)  
 〇、永川台四一十九 山下方  
 TEL 九三二一〇七八九  
 会長 内田庄作  
 十一、ライフル射撃協会(昭三九)  
 〇、田柄五十七七六 佐藤方  
 TEL 九九八〇〇七九  
 会長 大橋静男  
 十二、バドミントン協会(昭三九)  
 〇、高野台五十二六十八下村方  
 TEL 九〇四一九七六  
 会長 小口政雄  
 十三、バレーボール連盟(昭四〇)  
 〇、北大泉町一〇〇四 数馬田方  
 TEL 九三二一五三二  
 会長 小口政雄  
 十四、アーチェリー協会(昭四二)  
 〇、北大泉町一〇 落合方  
 TEL 九三二三五四五  
 会長 小口政雄  
 十五、銃剣道連盟 (昭四二)  
 〇、小竹町一一一 紙田方  
 TEL 九五六一二五二三  
 会長 紙田吉太郎  
 十六、ローラースケート連盟  
 (昭四三)  
 〇、東大泉町二二五五 野口方  
 TEL 九二四一〇七二二  
 会長 野口嘉郎  
 十七、空手道連盟 (昭四四)  
 〇、大泉学園町二八六六 横山方  
 TEL 九二五一五〇六  
 会長 山田海潮  
 十八、相撲連盟 (昭四五)  
 〇、永川台四一十九 山下方  
 TEL 九三二一〇七八九  
 会長 矢崎久雄  
 十九、弓道連盟 (昭四六)  
 〇、小竹町一一三四 尾形方  
 TEL 九五六一二六八二  
 会長 尾形肇吉  
 二〇、スケート連盟 (昭五〇)  
 〇、豊玉北五十七高橋方  
 TEL 九一一二五五四  
 会長

編集後記

なんとか第一号発行にまでこぎつけました。体協の仕事というものは、その範囲は誠に広く、無限といえましょう。しかしその存在となると、広範囲に於ては、無力に等しいものでした。そこで、アマスポーツの精神は、華仕がその第一歩と考え、満足していただけるものではないと思いますが、やってみることにしました。素人のこと、不満もあるでしょうが、見守っていただくと共に協力をお願いいたします。次号から「スポーツたより」の話題のコーナー等を設けます。どしどしと投稿下さい。編集者は、ある程度独自の方針をもってすすめねば、とうていこのニュースの継続は出来ません。どうかご理解を。さて、年間の発行回数は、と考える時、まず予算と相談。次に内容。そして自分の余暇で出来か否かを。その結果、四月中旬、七月中旬、十月中旬、一月中旬と年四回出せば上出来ではないでしょうか。机もまたない編集部より

発行 東京都練馬区中村北一一九  
 一〇〇 区教育委員会内  
 練馬体育協会  
 代表 小口政雄  
 編集 野口嘉郎